

2015年ネパール大地震 — そのとき愛も揺れた

震災国日本とネパールのあらたな絆を描く復興支援映画

フィルム・クリエーション・ネパール提供



『カタプタリ〜風の村の伝説』(2008) 『カトマンズに散る花』(2013) に続く

伊藤敏朗監督 ネパール映画第3作

カトマンズの約束

CAST | ガネス・マン・ラマ / シタル・スレスタ / 早田友一 / 水谷りぼん / 松田秀太郎 / 田坂和歳 / 宮本拓 / 山崎徳子
チャイティア・デビ(友情出演) / ボビー・リンプー / ラズ・ブジュ / チャンダニ・ラマ / 横山みさ子 / 仲上満 / 西原健太

STAFF | 監督 伊藤敏朗 / 撮影監督 ガウリ・シャンカ・ドゥンズ / 撮影 ナラヤン・G・C / 音楽 デニス・スナム

録音 ディープ・ラトナ・トゥラダル / 振付 プラディップ・スレスタ / 制作 中村哲也 / 助監督 日垣一博

日本・ネパール合作映画 / ネパール語・日本語音声 / 日本語字幕 / 127分

Presented by Film Creation Nepal Pvt.,Ltd.

प्रोमिस फोर काठमाडौं

<http://film-creation-nepal.com/promise/>



Nepalese Film Exhibition in Japan
Supported by Hatemalo Society

震災直後のカトマンズに大規模ロケ敢行!日本の国際緊急援助隊の活躍と被災地で立ち上がる人々を描く!

カトマンズの約束

Film Creation Nepal Pvt.Ltd.Presents

プロミス フォー カトマズ

日本の援助隊との友情で結ばれた映画俳優

ネパール政府国家映画賞を受賞した『カタプタリ〜風の村の伝説〜』(2008)と、ネパール文芸小説の最高峰『シリスコフル』(原作・パリジャート)の完全映画化『カトマンズに散る花』(2013)によって、ネパールと日本の合作映画シーンを強力に牽引してきた伊藤敏朗監督とネパールの人気俳優ガネシュ・マン・ラマ。

2人が新作映画を製作中の2015年4月25日、M7.8の巨大地震がネパールを襲い死者8千人超の大災害となった。映画は中断を余儀なくされたが、日本語に堪能なガネシュは現地に派遣された日本の国際緊急援助隊の要請に応え、移動用車両の手配、支援物資の分配、現地の人々との交渉などの難問に立ち向かい、その任務遂行を強力に支えた。日本側の求めて立ち寄った地方の村では最大余震(5月12日M7.3)に遭遇、自らのジープが地滑りに巻き込まれるという間一髪の事態にも見舞われた。このような献身的活動で、ガネシュはネパールの民間人として唯一、日本隊から「感謝メダル」を授与された。

伊藤監督は製作中だった映画に、このガネシュと日本隊の隊員たちとの間に生まれたドラマを盛り込み、世界にネパールの震災復興支援を訴える映画、『カトマンズの約束』として完成させた。

この映画は日本の国際緊急援助隊の海外での活躍を描いた初めての劇映画であり、ネパール国内でも2015年大地震をテーマにした最初の作品となった。

本の長野県・諏訪の御社祭の場面に続くことで、両国の祈りのかたちが見事な相似律として浮かび上がるという、文化人類学的にも価値ある作品となっている。

日本とネパールの今とこれからを見つめて

本作は、メインキャストとスタッフが日本とネパールを行き来しながら撮影された。日本ロケでは在日ネパール人の皆さんが大挙して出演協力しており、日本での彼らの生活の大変さ、大地震の報に接した時の恐怖と不安、祖国支援のために団結していく姿などがリアルに描かれている。

特筆されるべきは、本作が大災害を背景とした良質な人間ドラマであると同時に、ネパール人が愛してやまない歌と踊りを挿みながら展開する“マサラムービー”であること。震災に立ち向かい再生していく主人公の肉体的成長、その愛と冒険を壮大なスケールで描きつつ、少し懐かしいところもあるようなネパール・メロドラマの王道を行く展開に、日本の観客は驚愕せずにはいられないだろう。

映画『カトマンズの約束』の完成と公開が、日・ネ交流史上における画期的出来事であるのは間違いなく、ますます国際化する日本の文化状況を象徴するような作品の登場である。

■主演/ガネシュ・マン・ラマ Ganesh Man Lama 1958年カトマンズに生まれる。俳優・プロデューサー。1990年代のTVシリーズ『カンチ』と『マイリ』で一世を風靡して人気俳優となり、多数の映画に出演。1997年ネパール・日本の初の合作映画『ミテリ・ガウン〜愛の架け橋』に主演。2015年のネパール大地震救援のため現地に赴いた日本の国際緊急援助隊の現地コーディネーターとして奮闘した。

■監督/伊藤敏朗 Toshiaki Itoh 1957年大分市生。東京農業大学卒、日本大学大学院芸術学研究所博士後期課程修了・博士(芸術学)。東京情報大学教授を経て2018年4月より目白大学特任教授。ネパール映画監督協会所属の唯一の外国人監督である。著書『ネパール映画の全貌—その歴史と分析』(2011年、凱風社)ほか。



2015年8月、カトマンズの瓦礫の上で撮影中のガネシュ・マン・ラマ(左)と伊藤敏朗監督(右)

記録された被災地の状況と復興に立ち上がる人々の姿

撮影はカトマンズの瓦礫の上で敢行され、被災地の克明な記録となっている一方、人々が復興に向け力強く歩み出す姿もリアルタイムで捉えている。とりわけ震災後、例年以上に力をこめて行われた伝統の祭り、インドラジャトラとラトマチェンドラナートの迫力ある映像に驚かされるが、それが日

カトマンズの約束

ネパール大地震

復興支援上映協賛チラシ

このチラシを劇場にご持参になると
入場料1,300円となります
(チラシ1枚につきお2人まで)

A ネパール大地震3周年追悼上映会
4月25日 (水) **中野ZEROホール**
東京都中野区中野2-9-7/中野駅南口下車徒歩8分
『カトマンズの約束』のみ上映 16:00~19:00~

B 一般公開
4月30日 (月) ~ **5月6日** (日)
渋谷ユーロライブ
東京都渋谷区円山町1-5 KINOHAUS 2F(ユーロスペース下)
渋谷駅下車徒歩10分・東急本店方向・Bunkamura前交差点左折
『カトマンズの約束』13:00~16:20~/18:40~
同時上映『カトマンズに散る花』10:30~/『カタプタリ〜風の村の伝説〜』15:20~

A/B 共通入場料 【当日一般】1,800円/【当日シニア/学生】1,500円/【当日早朝割引】1,300円

*シニアは65歳以上、学生は学生証提示の院生・大学生・専門学校生、高校生以下

*早朝割引は10:30上映の『カトマンズに散る花』から入場のお客様のみ終日ご鑑賞頂ける特別料金です



B
同時上映

短編 『カタプタリ〜風の村の伝説〜』 51分 『カトマンズの約束』の主人公ラメスの少年時代を描くファンタジー
ネパール映画 15:20~ 伊藤敏朗監督ネパール映画第1作・ネパール政府国家映画賞受賞

原作 『カトマンズに散る花』 134分 ネパール文学最高峰・マダン賞受賞作品、パリジャート原作『シリスコフル』
パリジャート 10:30~ 初の完全映画化/伊藤敏朗監督ネパール映画第2作

